

皆さん、こんにちは！いかがお過ごしですか？
津谷歯科医院、院長の津谷良です。

新型コロナは第5波となる感染が再拡大しています。この第5波は、デルタ株という種類のウイルスが、従来のものよりウイルス量が1000倍位多いので、感染力が従来型の1.78倍強いことが大きな原因の一つです。9月8日現在の官邸発表によると、日本の全人口の60.9%が1回以上、高齢者に限れば87.5%が2回のワクチン接種を終えています。10月末迄には全人口への2回の接種が完了する予定です。新規感染者に占める高齢者の割合は3%前後ですが、ワクチンはデルタ株にも有効で、重症化する例が少ないので、このままワクチン接種率を上げることが収束へのポイントになります。今月は、『歯周病は新型コロナの重症化リスク』をお届けします。

■ 新型コロナの感染経路

新型コロナウィルスは、人の細胞の中に入り込むことによって、はじめて増殖できます。感染が成立するためには、ACE2と呼ばれる受容体を持つ細胞に新型コロナが付着することが条件です。例えばウイルスがACE2受容体を持たない皮膚の細胞に付着しても細胞の中には入り込めない1ので当然増殖もできません。ACE2は、口・鼻・目の粘膜細胞にあり、ここから感染・増殖した後、ウイルスはACE2受容体を持つ気管支、肺、心臓、血管、腎臓等の全身に感染を広げていきます。肺炎や血管閉塞の他、『味がわかなくなかった』『匂いがしない』といった後遺症が残ることや、子供にはACE2が少ない1ので、成人より感染率が低く、重症化も非常に少ないということも、ACE2から感染する、ということによって説明がつかず。

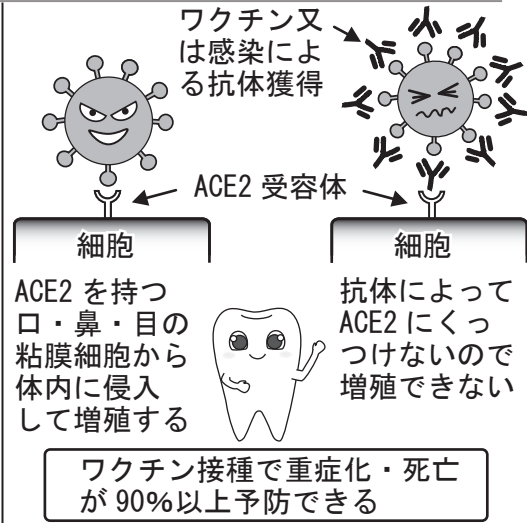
■ 歯周病で重症化リスクは5.6倍に！

新型コロナの重症化の危険因子については、昨年早い段階から解析が進んでいました。もっともリスクの高い因子は『高齢者』で13倍です。いろいろな基礎疾患を持っていることが原因のひとつです。年齢に関係なく重症化のリスクが高い因子には、『呼吸器疾患』が

5.7倍、『血管疾患』は3.4倍、『糖尿病』は2.3倍です。実はあまり報道されていませんが、今年の2月に海外で発表された研究によると、『歯周病』は5.6倍です。歯周病で上昇するIL-6というたんぱく質のレベルが高い人は肺炎にかかる確率が20倍高くなる1と言われていること等、歯周病が危険因子の1つであることはほぼ間違いのない1と思います。

■ 歯周病は早めに治療を

自分の歯が残っている成人の8割以上は歯周病です。軽度の場合、自覚症状がないので気付くことなくそのままにしてしまいがちですが、歯を失う原因の第1位です。歯と歯ぐきの隙間に潜む歯周病菌にまでは歯ブラシが届かないので、歯科医院での治療が必要となります。新型コロナの重症化リスクだけでなく細菌性の二次肺炎を予防するためにも口腔内細菌を減らすことが重要です。要介護の方は、ぜひ積極的に口腔ケアを受けてください。



歯周病がない人との比較 (倍)

死亡リスク	8.8
人工呼吸器使用リスク	4.6
ICU入院リスク	3.5

(Marouf N等、JCP、2021)

◆ 歯周病の死亡リスクは歯周病でない人の8.8倍 歯科で早期治療を！ ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えしてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、『いつもお元気でいいですね』って話をしていたのに...。そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

津谷歯科医院

診療時間 9:00~12:30/14:00~18:30
(土曜日は16:30まで)

診療科目 歯科 小児歯科

休診日 木曜・日曜・祝祭日

院長 津谷 良

岡山市中区海吉1807-14

☎ 0120-779-418 FAX 0120-779-413